



2023年10月11日

各位

会社名 株式会社 チノール
代表者名 代表取締役社長執行役員 豊田三喜男
(コード番号 6850 東証プライム)
問合せ先 常務執行役員経営管理本部長 大森一正
(TEL 03-3956-2115)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2023年10月11日開催の取締役会において、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るために、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、当社の現状認識・分析および取組方針を下記の通り決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 現状認識

- 1) ROE: 2021年度を初年度とする中期経営計画において、その最終年度である2026年度の目標を10%としております。中期経営計画の達成に向けた取組を行うなかで、その2年目である2022年度の実績として、ROEは8.5%となりました。
- 2) PBR: 2022年度期末のPBRは0.97倍となりました。本年6月から8月初旬にかけて、PBRは1.0倍を上回って推移しましたが、直近は1.0倍を下回っています。

2. 現状分析

添付資料内の「実績の推移」および「分析および取組・目標」をご参照願います。

3. 取組方針

1) 成長戦略

2026年度を最終年度とする中期経営計画における事業戦略の推進を通じて、目標(売上高300億円、営業利益27億円、ROE10%等)の達成に取り組んでおります。

中期経営計画の内容については、当社ウェブサイトに掲載の「[中期経営計画2026](#)」をご参照ください。

2) 財務・資本戦略

当期の株主還元として以下の事項を実行し、今後継続的に株主還元の充実を図ってまいります。

- ・配当性向(年間)30%を目安とした安定配当を実施
(直近の配当予想は中間20円、期末35円の合計55円(前年度比3円増配))
- ・中間配当の再開(基準日は2023年9月末)
- ・株主優待制度の継続(基準日は2024年3月末)

また、2021年度以降、政策保有株式の縮減を順次実行しており、今年度以降もさらに進めてまいります。

3) IR活動の充実

機関投資家向け説明会および個人投資家向け説明動画の配信(それぞれ年2回実施)を継続するとともに、個別IRミーティングの機会拡充により、投資家との対話促進を図るとともに、投資家からいただいたご意見を事業戦略に生かしてまいります。

また、当社のウェブサイトにおいて、従来のIR情報の発信に加え、サステナビリティ情報等の非財務情報発信の充実を図ってまいります。

以上



資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

2023年10月11日
株式会社チノー

実績の推移

			2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績
連結業績	売上高	百万円	18,569	20,745	21,999	20,582	21,080	21,908	23,793
	営業利益	百万円	566	1,303	1,718	1,026	1,136	1,499	2,018
	営業利益率	%	3.0	6.3	7.8	5.0	5.4	6.8	8.5
	当期純利益	百万円	373	832	1,113	1,218	1,289	1,050	1,536

資本収益性・資本コスト	ROE (a)	%	2.8	5.9	7.6	8.0	8.1	6.1	8.5
	株主資本コスト (b)	%	4.4	4.4	6.3	7.9	7.0	6.4	5.7
	エクイティ・スプレッド (a) - (b)		-1.6	+1.5	+1.3	+0.1	+1.1	-0.3	+2.8
	ROIC (c)	%	2.4	5.5	7.1	4.0	4.2	5.4	6.8
	WACC (d)	%	3.6	3.8	5.2	6.3	5.9	5.6	4.9
	エンタープライズ・ スプレッド (c) - (d)		-1.2	+1.7	+1.9	-2.3	-1.7	-0.2	+1.9

市場評価	期末株価	円	1,235	1,477	1,282	1,226	1,455	1,619	2,152
	期末時価総額	億円	114.4	136.8	118.7	113.5	134.7	149.9	199.3
	PER	倍	28.12	15.03	9.75	8.53	9.56	13.05	11.88
	PBR	倍	0.77	0.87	0.72	0.68	0.74	0.78	0.97

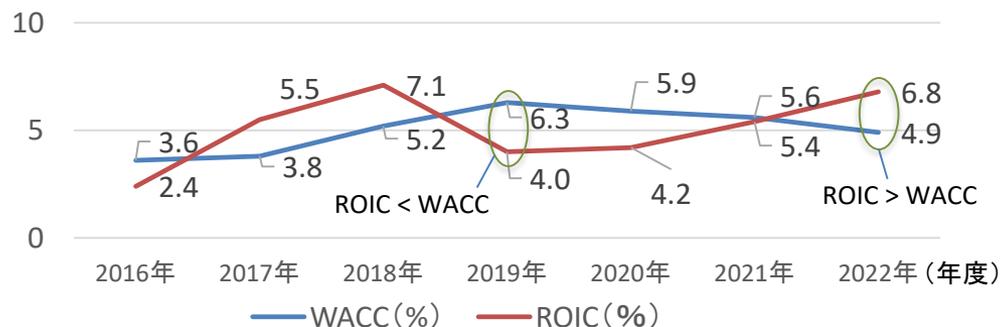
分析および取組・目標

分析

売上高・利益率



資本収益性・資本コスト



市場評価



取組・目標

取組

- ・中期経営計画の着実な遂行

目標(中期経営計画、2026年度)

- ・売上高 300億円
- ・営業利益 27億円
- ・営業利益率 9.0%

取組

- ・成長事業への投資拡大
- ・経営資源の効率的な活用

目標(中期経営計画、2026年度)

- ・ROE 10%
- ・継続的に ROIC > WACC の状態を維持

取組

- ・配当性向30%を目安にした安定配当の継続
- ・IR活動の強化 / 株主との対話充実
- ・非財務情報の開示の充実

目標

- ・PBR 1.0倍以上の回復、継続的維持・向上